



国立病院機構のシンボルマーク



独立行政法人国立病院機構  
 **松江医療センター**  
**呼吸器病センター**  
 〒690-8556  
 松江市上乃木5丁目8-31  
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019  
 URL <https://matsue.hosp.go.jp/>

発行責任者  
 院長 井岸 正  
 編集者  
 事務部長 前田 悟



由志園の風鈴

撮影者：吉岡由衣  
猛暑の中、涼を楽しみませんか

もくじ

教育研修部コラム  
 “Make something visible.” …… 2～3  
 「Best Doctors in Japan 2020-2021」 …… 3  
 永年勤続表彰 …… 4～5  
 「新しい生活様式」について …… 6  
 職場紹介 …… 7  
 がん化学療法看護認定看護師への道 …… 8

緩和ケア認定看護師の役割 …… 8  
 認知症ケアチームの役割 …… 8  
 松江を駆ける …… 9  
 開業医紹介コーナー …… 10  
 地域医療連携室だより …… 11  
 外来診療表 …… 12

基本理念 私たちは、真心と思いやりをもって良質な医療を提供します。





～ 教 育 研 修 部 コ ラ ム ～

“Make something visible.”

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

この原稿を書いているのは5月の下旬。地球で猛威を奮っているCOVID-19の国内の第一波が落ちてきたところ。この「見えざる敵」はなかなか厄介な相手。しかしながら数々の研究と経験の蓄積から少しずつではありますが、対処法が見えてきます。早く、落ち着いて日常が取り戻せますように。

さて、2011年11月に発足した当院の教育研修部。その前身は2009年4月に立ち上げた「医療教育研修室」でした。さらにその前身は2000年ごろから時間外の呼吸器勉強会を運営していた「みどりの会」でした。かく言う私は「医療教育研修室」の立ち上げから関わっていますので当院の教育の仕事にかれこれ10年以上携わっていることとなります。長い年月をかけてボンヤリしていた当院の教育やその周辺の問題をみんなで整理して少しずつ「見える化」してきました。

また2013年4月から当院では呼吸ケア・サポートチーム（RST）を立ち上げて多職種で活動しています。2017年4月にはその上流に委員会を設け、すでに院内に存在していた呼吸管理分野のガイドラインやマニュアルの整理と新たなものの整備を行っています。これも「見える化」です。複雑化・専門化する医療の世界では情報の共有や手技の統一、均てん化と情報の更新は重要です。そしてそれをみんなが共有できる形で「見える化」しておくことは極めて重要な仕事なのです。

翻ってみると我々の本来業務。そう、患者さんに対して問診したり身体所見をとったり、必要な検査を加えることも問題の「見える化」に他なりません。「見える化」できたものを整理して吟味して必要な対処を行う。これはいわゆる診断から治療の流れで

あり、我々医療人の重要な仕事です。

こうして「見える化」、すなわちinvisibleなものをvisibleにしていくことはとても大事です。しかし、物事は単純でなく、このように意図した「見える化」ではない意図しない「見える化」、即ち「見えてしまう化」が起こってしまうこともままあります。これはinvisibleなところに～作為的もしくは無作為的両方のケースがありますが～急にspotlightが当たってflashをたいたように眩しくなってしまうようなイメージ。急にこれをやられると目が眩んでしまいます。このflashを見ていても目が眩むだけで、visibleなものが逆にinvisibleになってしまうことすらあるのです。flashには真正面からいかずに明順応ができてから落ち着いて対応すればちゃんと「見える化」できることが多いです。こんな時、重要なことはfact（事実）を見ること。明順応が加速します。こうして目が眩んだ時、evidence（証拠・根拠）のない予測を試してみたり、憶測に基づいてfactではないことを語ることは全く意味を為しません。そもそもinvisibleなfactもあり得ますから。よく見ることが大事であり、「見える化」しようとする不断の意識が重要だと私は考えています。

かく言うこの私。この春から実臨床でやれる、と大きく期待していたとある有望な治療法が事実上でできないことがこの1月に判明しました。久しぶりに数週間ガツカリと落ち込んだ日々を送ってしまいました。今でこそちゃんと立ち直りましたが、なかなかしんどい思いを久しぶりに味わいました。あ、偉そうに書いたのに自分がflashを食らってんじゃん（笑）！ 少し時間はかかりましたが、しっかりと“明順応”できてからは、“なぜ、その治療が今はできないのか？”という重要な命題について今「見

える化」することが求められているのだ、と思い直すことができました。そういえばこれまで沢山の「見える化」に関わることで自分も成長してきました。こうしてうまくいかない時にこそ「見える化」して目の前の壁を超えてやろう！気持ちの上でのresilience（回復力）を保つにも「見える化」すること、しようとすることはどうやら大事なようです。と自分も戒めつつ。。。

教育研修部は当院の教育の「見える化」のカタチです。しかし、COVID-19によりそのカタチが崩れ

そうになっています。この厄介な「見えざる敵」に対応するにはそもそものカタチ（仕組み）まで変えていかないとダメなようです。そう、こんな時に大事なのはやはりfactを見る確かな目。そしてそれに対応する「見える化」。新しいカタチを構築し、“After Corona”とか“With Corona”とか言われる時代を乗り切っていかなければなりません。我々が元気で学び続け、成長し続けることは世の中にとって相当重要なのですから。

さぁみんなで頑張っていきましょう！

# 「Best Doctors in Japan 2020-2021」

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

さる6月のとある日にお知らせが届きました。2年前にもこの「Best Doctors in Japan」をいただいておりますが、なんと今回も続けてご選出いただきました。

医師同士の相互評価で選出されるもので今回は全国で7,164名の医師が選出されたとのこと。感謝感謝です。

[https://bestdoctors.com/japan/  
for-physicians/](https://bestdoctors.com/japan/for-physicians/)

これもひとえに小生を鍛えてくださった師匠の先生方、諸先輩方、当院呼吸器内科の先生方、スタッフの方々、そして何よりたくさんの方々に教えてくださる患者さん・ご家族の皆さんのおかげです。

今後も精進を重ねていきたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします！



# 永年勤続表彰

## 経営企画室長 石橋 融

この度は永年勤続で表彰していただき、30年という歳月が経過したことを改めて感じています。社会人になってから今日まで沢山の人の人に出会い、支えられたお陰で長い間勤めることが出来ました。

今年は2020東京オリンピックの年で日本中が盛り上がる予定でしたが、新型コロナウイルスが世界に拡散し、今現在も日常生活に支障を来す程の影響が続いています。一刻も早く収束し日常生活を取り戻せるようになることを祈っています。

私自身は、これからも病院の事務職員として、医師・看護師・コメディカル等多くの職種の縁の下の力持ちになりたいと考えています。そのためには先ず自分自身の健康を第一に考え事務職員の仕事を全うしていく所存です。



## 教育担当師長 古門 千代美

永年勤続の表彰をいただき、ありがとうございました。

私自身、勤続年数はあまり意識していませんでしたが、30年経ったことはとても感慨深いものがあります。これまでたくさんの出会いがあり、皆さんに支えられ看護を続けることができました。しみじみと振り返り、支えて戴いたことに感謝するばかりです。また家族の協力や母からの「檄」と「励」をもらい、これが続ける原動力でもありました。今後も健康に気遣い、看護を続けていきたいと思っています。



## 看護部 1階病棟 看護師 山本 利子

永年勤続30年、これまで勤務を続けられたのは、職員の皆さん、患者さん、そして家族の支えがあったからだ感謝しています。体力的な面では厳しくなっていますが、長く看護師として勤務してきた経験や自信の看護観を大切にしながら、できる限り働き続けたいと思います。



## 副臨床検査技師長 松本 学

この度は永年（30年）勤続表彰して頂きありがとうございました。

つい最近学校を卒業したと思っていたら、もう30年の月日を経ていたなんて改めてビックリです。（表彰されたのにかなりショック！）

最近、何でもないところでつまづく回数が増えたのも納得がいきます。

考えてみれば、なんだかんだでこの病院は8か所目ですすね。

とりあえず定年になるまではこれまで培ってきた経験値を生かして他部門との連携を大切に、微力ながら地域医療に貢献していきたいと考えています。



3階病棟 看護師長 作野 真澄

賃金職員から定員に本採用になってから20年が経ったのだと、しみじみ振り返ります。就職した当時は、現在と違いナースキャップを着けていました。時代の流れと共に歩んできた20年でした。今後とも医療の進歩に合わせて、精進していきたいと思えます。



2階病棟 看護師 中谷 愛



この度は永年勤続表彰をいただきありがとうございます。今後も患者さんに寄り添った看護を続けていきたいと思えます。スタッフや患者さんそして家族に感謝します。そしてこれからもよろしくお願いいたします。

栄養管理室 調理師長 森脇 功夫

この度は永年勤続20年の表彰をしていただき、ありがとうございます。時代も平成から令和になり、あっという間の20年でしたが、これもひとえに栄養管理室のスタッフの皆様にも恵まれていたからこそ出来たものと深く感謝します。



# 「新しい生活様式」について

事務部長 前田 悟



- 「愛してる 家族のために 距離をあけ」
- 「でかけない 密にならない 作らない」
- 「のんびりと おうち時間を 楽しもう」

これらは、新型コロナウイルス感染症対策として、やらなければならないことを覚えやすくするために、東京都が作成した「コロナ対策 東京かるた」の一つです。

いささかお節的なキャンペーン・標語のようにも感じますが、この春以来、多くの方がこういうスタイルを意識するようになりました。

私個人の予想としては、今年の流行語大賞は「STAY HOME（ステイ ホーム）」に決まりかな？ と思っているところですが、今年のゴールデンウィークほど時間を持て余したことはありませんでした。（私だけ??）

皆さんはステイホーム、何をして過ごされていますか(過ごされましたか)?

巷で多く聞かれるのは、「自宅ゆっくり休む・寝る」、「部屋の片づけ、大掃除、断捨離」、「映画・ドラマ・ライブ・youtubeなどを見る」、「料理やお菓子を作る」、「エクササイズなど運動をする」などですが、中には「資格・試験などスキルアップのための勉強をする」というしっかり者もおられます。

私は根っからの面倒くさがりのため、平日・休日を問わず出歩くタイプではありませんが、やはりゴールデンウィーク中は少し「宅飲み」が増えてしまいました。最近は反省し、規則正しい生活、具体的には早寝早起き、質素な食生活を心がけています。

さて、新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を踏まえ、厚生労働省は「新しい生活様式」を公表しました。具体的にイメージいただけるよう、今後の日常生活の中で取り入れていただきたい実践例が示されています。

「手洗い、咳エチケット等の感染対策」、「『3つの密』の回避」など、心がけていきましょう。

### 「新しい生活様式」の実践例

\_(1) 一人ひとりの基本的感染対策

**感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い**

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、**症状がなくてもマスク**を着用
- 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

**移動に関する感染対策**

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

\_(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒**
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気
- 身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（密着、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養

\_(3) 日常生活の各場面別の生活様式

**買い物**

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

**公共交通機関の利用**

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

**食事**

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

**娯楽、スポーツ等**

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離がオンライン

**冠婚葬祭などの親族行事**

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

\_(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- 時差通勤でゆったりと
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 名刺交換はオンライン
- 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成予定

## 職 場 紹 介

### リハビリテーション科

リハビリテーション科は現在PT10名・OT4名・ST3名の総勢17名で入院や外来患者さんのリハビリテーションを支援しております。

呼吸療法認定士やがんリハビリテーション研修修了者、パーキンソン病の運動療法(LSVT)資格者といった専門分野に精通したスタッフも多く、質の高いリハビリの提供を心がけています。

また2年前からはパーキンソン病のリハビリ入院や呼吸リハビリ入院といったリハビリ目的の入院を開始し、有難いことにリピーターの方も増えるなどご好評をいただいております。

当リハビリ科の今年度のテーマの一つに「在宅に目を向けた支援」がございます。地域連携室や看護部と連携して、退院前カンファレンスや退院前訪問にリハスタッフが積極的に参加し、退院後の生活を安心してお過ごしになられるようお手伝いできればと思っております。

外来のリハビリについては新型コロナウイルスにより一時休止しておりましたが、6/15より再開させていただきました。予断を許さない状況は続きますが、必要なリハビリを安心してご提供できる場を一生懸命スタッフとともに整えてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。



### 栄養管理室

#### 4月の行事食 「花見寿司」について

少し前のことですが、4月3日に毎年恒例の行事食、「花見寿司」を行いました。入院患者さんに少しでも雰囲気を感じてもらえたらと毎年行っていますが、近年はその花見寿司を行う日程について悩んでいます。

桜といえば、入学・就職の4月、というイメージが一般的(?)にあるので、花見寿司は満開の4月、にこだわって計画しています。しかし温暖化の影響なのか、開花、満開の時期が徐々に3月中に早まってきている様です。たとえ満開でも3月だとインパクトに欠けるのでは…でも、もし4月に桜が散っていたらどうしよう…。食材調達や調理人員確保などの事情で2月末頃には日程を決めています。だから直前の変更も出来ません。どきどきしながら4月まで桜を眺めていますが、昨年も今年も4月の実施日に桜は無事残っていました。

新型コロナウイルスの影響で、今までの考えを変えた新しい生活様式を求められる事となりました。学校の9月入学について議論されています。もしそうなれば、今後は桜に対するイメージも変わり、花見寿司も4月にこだわる必要が無くなり、日程も早まっていくのかな、と想像しています。



## がん化学療法看護認定看護師への道

4階西病棟 副看護師長  
がん化学療法看護認定看護師 **岩田 由佳理**



当院に就職し、これまで多くのがん患者さんとの出会いがありました。つらい闘病中にも関わらず当時未熟だった私は患者さんから励まされることも多く、たくさんの事を学ばせていただきました。経験を積み徐々に知識も増え始めた頃、提供させていただいたケアに対し、たいへん感謝されることがありました。嬉しい反面、この程度のケアで喜んでいただいたことに心苦しい気持ちが芽生え「もっと知識を深め看護の力で患者さんの苦痛を軽減できないだろうか。」と強く思い、がん化学療法看護認定看護師の資格取得を決意しました。それから6年、現在は、がん薬物療法（＝抗がん剤）が治療法となった時から、患者さんやご家族が主体的に治療に取り組み、治療中に起きる副作用に対処できるようサポートしています。また、スタッフに対しては、薬の特性や管理方法の知識をもとに投与や管理、副作用対策の指導を行ったり、ケアを共に考える等の対応をしております。がん治療は次々に新しい薬が発売され、治療や副作用は複雑化していますが、今後も患者さんやご家族にとって不安が少なく安全に治療が受けられるよう医師、薬剤師等の他職種と積極的に協働し、質の高い看護を提供できるように日々努力していきたいと思っております。

## 緩和ケア認定看護師の役割

5階病棟 副看護師長  
緩和ケア認定看護師 **清水 里夏子**



私が看護を実践する上で気をつけていることは、患者さんを『病気を患った人』として偏った見方をしないという点です。日頃、私たち病棟勤務の看護師には病衣で療養される患者さんの姿しか見えません。しかし、患者さん一人ひとりにご家族や大切な人との人生や価値観があります。自宅での当たり前前の生活や希望を維持し、その中で診断を受けたその日からその人らしくより良い「生」であるようお手伝いすることが緩和ケアです。その提供のために患者さん一人ひとりにとって何がより良いかを一緒になって考えていく過程を大切にしていきたいと思っております。

実際に実践するためには経験や専門的知識、技術が必要で、更にそれらをより良く活かす感性も必要です。勉強をしたからといって私一人では何もできません。当院のスタッフ皆で支援していけるよう、実践する姿を見せ、指導し、またいつでも相談を受けられる体制を整えていくことが私の役割と思っております。

## 認知症ケアチームの役割

老人看護専門看護師 **山根 裕子**



認知症ケアチームの一員として、院内の認知症をもつ患者様のケアについて組織横断的に活動させて頂いています。

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的蔓延を受け、日本もいまだかつて経験したことのない状況下にあります。現在の状況に私たちも戸惑っていますが、認知症の患者様への影響の大きさを関わりの中で痛感しています。「入院」という環境変化に加え、家族との面会ができないことでの心細さや不安を口にされる患者様も多くおられます。また、看護師もマスクやゴーグル姿であるため表情が分かりにくく、「馴染みの関係」も構築しにくく安心感が得られ難い環境にあります。このような入院環境で、行動・心理症状が出現または悪化されることも増えています。今できる入院中のケアを充実させると共に、地域医療連携室をはじめ多職種と協力して住み慣れた場所へ早期に退院できるように調整することも重要な役割と考えています。

## 松江を駆ける

庶務班長 星原 昌美

何か音が聞こえるぞ！

そう、何の前触れもなく突然、花火が上がりました。令和2年6月1日午後8時に全国各地で花火が打ち上げられました。有志の花火職人らが企画した「全国一斉悪疫退散祈願 Cheer up! 花火プロジェクト」によるもので、島根県では宍道湖で打ち上げられました。

毎年恒例の水郷祭は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年は開催が中止となりました。密集・密接を避けるため場所など公表されていないにもかかわらず、どこからこの花火を聞きつけたのか、意外と見物人が多い印象を受けました。翌日、当院の近所に住んでいる職員から「昨日花火が見えたよ」「音聞こえたよ」という声を聞きました。

コロナをテレビや新聞で耳にするようになり半年が経とうとしています。この記事を書いたのは7月7日七夕の頃です。一刻も早くコロナ禍が収束することを切に願います。

残念ながらこの日の写真を載せることができませんでしたので、代わりに当院の職員が水郷祭の花火を撮影した写真を掲載します。



撮影者：吉岡由衣



# 開業医紹介コーナー

## 病病・病診連携 No.29 たなか内科クリニック

早いもので当地に開業し17年になります。実家は古志原で南高を経て鳥取大学第一内科で臨床・教育・研究に携わっていました。糖尿病、高血圧、脂質異常症といった自己管理が必要な病気の診療を主に行っています。重症ではなくても静かに動脈硬化を進行させる状態です。脳梗塞や心筋梗塞といった動脈硬化の病気を防ぐこと、適切に専門医と連携し健康長寿を守ることが当院の役割と言えます。



松江医療センターは地理的にも近く伝統的に呼吸器疾患を中心に大変お世話になっております。神経内科も非常に充実し最近では脳血管疾患やパーキンソン病などの診療で大変お世話になっております。勉強の機会も多々与えていただき大変ありがとうございます。今後一層連携を深め充実した診療を目指したいと考えていますのでどうかよろしく願い申し上げます。

受付診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○		
16:00~18:30	○	○		○	○			



休診日: 日・祝

備考: 水・土曜午前のみ/臨時休診あり



松江市上乃木9丁目1-10

☎ 0852-60-5877

田中 寧 院長先生  
とスタッフの皆さん



# 地域医療連携室だより 第39号

2020年7月

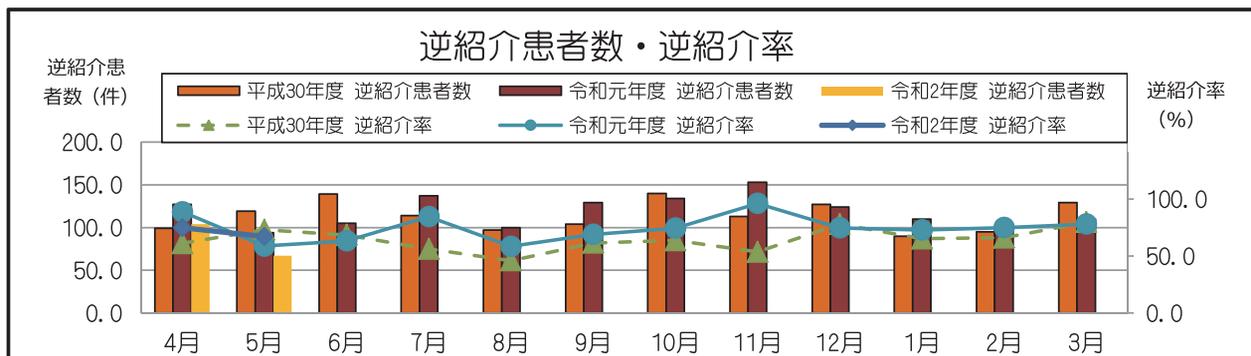
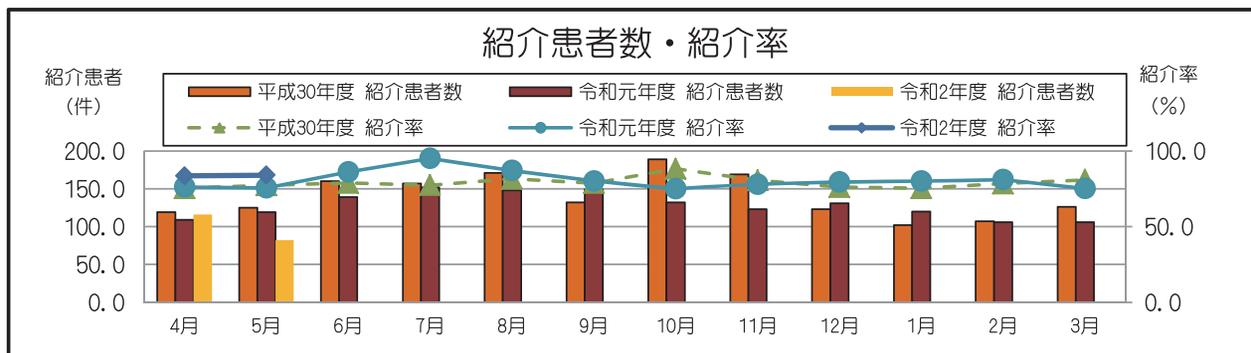
## 【時間外の対応について】



呼吸器疾患で緊急にご紹介いただく患者さまにつきましては  
24時間対応させていただいておりますので夜間・休日に関わらず  
下記にご連絡ください。

☎0852-21-6131 (代表) または 0852-24-7671 (地連)

## 1. 紹介患者数・紹介率 / 逆紹介患者数・逆紹介率の推移



## 2. 退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています

年度	R2											R1
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患者(人)	252	134										186
退院先	在宅(人)	103	58									75
	施設(人)	0	1									2
	病院(人)	9	6									6

※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させていただいた患者さんの割合です

逆紹介率 = 逆紹介患者数 ÷ 初診患者数 (休日、夜間の救急患者を除く)



外来診療表

お気軽にご相談下さい

令和2年7月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	専門領域	
呼吸器内科	岩本(初)	多田(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 井岸 正 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 多田 光宏 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介	【院長】呼吸器一般 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
	多田	小林	岩本	西川	木村		
	井岸	門脇	池田	坪内	小林		
循環器内科					生馬	【循環器内科】 生馬 勲	循環器一般
脳神経内科	中島 (完全予約制 不定期隔週)	古和	深田	足立	交替制	【脳神経内科】 中島 健二 古和 久典 足立 芳樹 中野 俊也 細田 義人 下山 良二 深田 育代	【名誉院長】脳神経内科 (完全予約制・不定期隔週) 【副院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 【診療部長】脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科
	中野	下山		細田			
呼吸器外科	荒木		目次		荒木	【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之	【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
小児科	久保田 (予約)	齋田 (予約)	齋田 松村 (予約)	久保田 (予約)	齋田 (予約)		
小児科	発達 専門外来 (予約)						【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 渉
小児科	予防接種	(予約)					
麻酔科	腰痛外来		西村 (予約)			【麻酔科】 西村友紀子	麻酔科領域
麻酔科	肺がん検診 (予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		
特	睡眠時無 呼吸外来			呼吸器内科 担当医(予約)		【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 渉	重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
	息切れ 外来		呼吸器内科 池田(予約)				
殊	喘息 アレルギー外来				池田 (予約)	【麻酔科】 西村友紀子	麻酔科領域
	咳嗽外来				池田 (予約)		
外	禁煙外来			毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30	独立行政法人 松江医療センター 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 医療連携室 F A X (0852) 24-7661
	アスベスト 外来	多田 (予約)	木村 (予約)	門脇 (予約)			
来	もの忘れ 外来		深田			Matsue Medical Center	
	セカンド オピニオン 外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)		

特 殊 外 来	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,500円
	睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。	
セカンドオピニオン外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・脳神経内科・小児科(筋ジスト)の専門医(医長)が担当いたします。	